

令和 5 年度北海道大学法学部
第 2 年次編入学試験「小論文試験問題紙」

9 : 2 0 ~ 1 1 : 2 0

解 答 上 の 注 意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはいけません。
2. 問題紙は 6 ページです。（表紙を除く）
3. 解答用紙は両面 2 枚。下書き用紙は両面 1 枚です。
4. 受験番号（上下 2 箇所）は、監督者の指示に従って、すべて解答用紙の指定された箇所に必ず記入しなさい。
5. 解答はすべて、解答用紙の指定された欄に横書きで記入しなさい。
6. 下書き用紙は回収しません。

問題1 以下の文章を読んで、問いに答えなさい。

※問題本文は著作権上の理由から掲載することはできませんので、以下の出典箇所を参照してください。

なお、2頁は白紙のため省略となっています。

出典：井上達夫「＜正義への企て＞としての法」『現代法学の思想と方法（岩波講座現代の法 15）』（岩波書店、1997 年）107 頁以下。出題に際し、文章の一部を省略した。

問 1 下線部①に関して、強盗の脅迫と法の違いに関する筆者の見解を 200 字以内で説明しなさい。（配点 20 点）

問 2 下線部②「法は正義をめぐる論争を打ち切る有権的決定の体系ではなく、正義を標榜するがゆえに正義適合性の批判的再吟味に開かれた試行的決定の体系である。」とあるが、課題文に即して「正義適合性の批判的再吟味を保障する制度」を取り上げ、それが我が国において正義適合性の再吟味という観点からして、果たして十分に機能していると言えるかどうか、あなたの見解を 400 字以内で述べなさい。（配点 30 点）

問題2 以下の文章を読んで、問いに答えなさい。

※問題本文は著作権上の理由から掲載することはできませんので、以下の出典箇所を参照してください。

なお、5 頁は白紙のため省略となっています。

出典：稲増一憲『マスメディアとは何かー「影響力の正体」』（中公新書、2022 年）

問 1 下線部①で、「メディア環境の改善」のためには、「個人の行動も重要となる」とされているが、筆者によればそれはなぜなのか。「メディア環境」の持つ意味を示した上で、200 字以内で説明しなさい。（配点 20 点）

問 2 下線部②で、筆者は「見たい情報だけを見ること」と「民主主義」（及びその「機能不全」）との関係について論じている。筆者においては、「民主主義」はどのようなものとして想定されており、それはあなたにとっては正しく想定されたものと考えられるか。400 字以内で論じなさい。（配点 30 点）

令和５年度北海道大学法学部
編入学試験「英語試験問題紙」

１２：２０～１４：２０

解 答 上 の 注 意

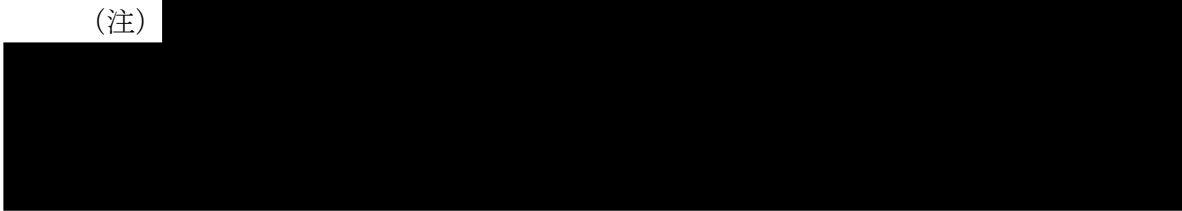
- １．試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはいけません。
- ２．問題紙は５ページです。（表紙を除く）
- ３．解答用紙は両面２枚です。
- ４．受験番号（上下２箇所）は、監督者の指示に従って、すべて解答用紙の指定された箇所に必ず記入しなさい。
- ５．解答はすべて、解答用紙の指定された欄に横書きで記入しなさい。

問題 1 次の文章は消費者契約に関して書かれたものである。これを読んで問いに答えなさい。(50 点)

※問題本文は著作権上の理由から掲載することはできませんので、以下の出典箇所を参照してください。

(出典) OREN BAR-GILL, SEDUCTION BY CONTRACT 8-10(2012). 出題に当たって、一部省略、語句の修正を行っている。

(注)



問1 下線部①～④を日本語に訳しなさい。(各 10 点)

問2 下線部⑤につき、どのようなことを意味しているのか説明しなさい。(10 点)

問題 2 日本の死刑制度に関する次の英文を読んで、後の各問に答えなさい (50 点)

※問題本文は著作権上の理由から掲載することはできませんので、以下の出典箇所を参照してください。
なお、4 頁は白紙のため省略となっています。

(出典) Emily Bengel, Dying for the Rule of Law : Crime and Capital Punishment in Japan and Italy, 29 MICH.St.INT’l L.REV. 63-66 (2021). (出題に当たって一部を省略した。)

(注)



問 1 下線部①～④を日本語に訳しなさい。(各 10 点)

問 2 下線部⑤は「単一国家による偏狭主義」と訳しうるが、ここでは、死刑に関してどのような状況が現に存在することを意味しているのか、日本語で具体的に説明しなさい。

(10 点)

令和５年度北海道大学法学部
第３年次編入学試験「専門科目試験問題紙」

１４：５０～１６：５０

解 答 上 の 注 意

- １．試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはいけません。
- ２．問題紙は２ページです。（表紙を除く）
- ３．解答用紙は両面２枚です。
- ４．受験番号（上下２箇所）は、監督者の指示に従って、すべて解答用紙の指定された箇所に必ず記入しなさい。
- ５．解答はすべて、解答用紙の指定された欄に横書きで記入しなさい。

問題 1

以下の各問いにすべて答えなさい。

問 1 職業選択の自由に関する、いわゆる「規制目的二分論」について、(1) 問題の所在、(2) 判例、(3) 学説について説明した後で、(4) 自分の考えを述べなさい。(25 点)

問 2 違憲審査権の性格について、(1) 問題の所在、(2) 判例、(3) 学説について説明した後で、(4) 自分の考えを述べなさい。(25 点)

問題 2

以下の各問いにすべて答えなさい。

問 1 デモクラシーという政治体制には、政策決定のためのレファレンダムと政策決定者を決定する選挙という、手続き的な二つのデモクラシーのタイプがあり、今日の多くの民主体制は両者を混合した形態をとっている。では、この体制下で、政策の相対的な重要度の違いに応じて、レファレンダムと選挙をどのように使い分けたらよいか。二つのタイプそれぞれについて、あえて一方を採用すべき理由を、具体的な例を挙げつつ、論じなさい。 (30 点)

問 2 以下の (ア) ～ (ウ) より、2つの事項を選択し、それぞれ説明しなさい。
(各 10 点)

- (ア) 沈黙の螺旋 (the spiral of silence)
- (イ) クォータ制 (quota system)
- (ウ) 安全保障のジレンマ (the security dilemma)